

みずほCustomer Desk Report 2018/02/05 号 (As of 2018/02/02)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.46
TKY 9:00AM	109.40	1.2511	136.87	1.4267	0.8040
SYD-NY High	110.48	1.2518	137.51	1.4277	0.8045
SYD-NY Low	109.29	1.2409	136.67	1.4102	0.7918
NY 5:00 PM	110.19	1.2455	137.22	1.4118	0.7918
NY DOW	25,520.96	▲ 665.75	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,240.95	▲ 144.92	日本10年債	0.0800	▲ 1.00bp
S&P	2,762.13	▲ 59.85	米国2年債	2.1433	▲ 1.56bp
日経平均	23,274.53	▲ 211.58	米国5年債	2.5875	2.23bp
TOPIX	1,864.20	▲ 6.24	米国10年債	2.8402	6.00bp
シカゴ日経先物	22,980	▲ 325.00	独10年債	0.7650	4.50bp
ロンドンFT	7,443.43	▲ 46.96	英10年債	1.5760	4.40bp
DAX	12,785.16	▲ 218.74	豪10年債	2.8125	0.15bp
ハンセン指数	32,601.78	▲ 40.31	USDJPY 1M Vol	8.06	0.24%
上海総合	3,462.08	15.10	USDJPY 3M Vol	8.33	0.14%
NY金	1,337.30	▲ 10.60	USDJPY 6M Vol	8.57	0.17%
WTI	65.45	▲ 0.35	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	197.44	▲ 0.91	EURJPY 3M Vol	8.70	0.15%
ドルインデックス	89.20	0.52	EURJPY 6M Vol	8.81	0.09%

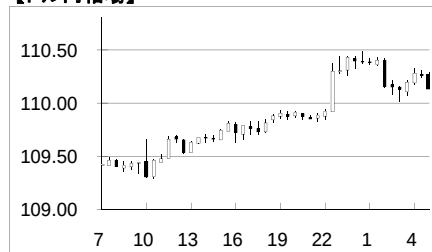
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月2日	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	1月 200K	180K
	22:30	米 失業率	1月 4.1%	4.1%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	1月 0.3%/2.9%	0.2%/2.6%
2月3日	0:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	1月 95.7	95.0
	0:00	米 製造業受注指数	12月 1.7%	1.5%
	0:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	12月 2.8%	-
	0:00	米 耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)・確報	12月 0.7%	-
	5:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	「今年の利上げ、3回が適切」	

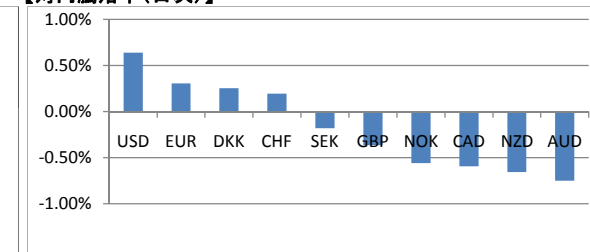
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月5日	10:45	中 Caixin PMI(コンポジット/サービス業)	1月 -/53.5	53.0/53.9
	17:55	独 マークイットPMI(コンポジット/サービス業)・確報	1月 58.8/57.0	58.8/57.0
	18:00	欧 マークイットPMI(コンポジット/サービス業)・確報	1月 58.6/57.6	58.6/57.6
	23:45	米 マークイットPMI(コンポジット/サービス業)・確報	1月 -/53.3	53.8/53.3
2月6日	0:00	米 ISM非製造業景況指数	1月 56.7	56.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.2400-1.2500	136.00-137.50

【マーケット・インプレッション】

先週末の海外市場のドル/円相場は堅調な展開。米1月雇用統計が市場予想を上回ったことで、ドル買い優勢の展開となり、110.48円まで上昇し、110円台前半でクローズした。本日のドル/円相場は、レンジ内での展開を予想する。先週末の米雇用統計が強い内容となったことで、米利上げペースが加速するとの見方から米長期金利が上昇しており、ドル買い要因となる。一方、米株価は長期金利の上昇を嫌気し大きく下落しており、日経平均株価も下落することが予想され、円買い要因となろう。以上より、レンジ内で神経質な展開となりそうだ。

東京	ドル円は109.40レベルで東京時間オープン。日銀が通告した国債買い入れオペで、残存5年超10年以下を4,500億円と前回比400億円増にすると同時に0.110%での指値オペを実施。ドル円は109.40台から109.60台に上昇した。ただ、上記オペは想定範囲内との声も出る中で、日経平均株価が前日比300円超下落するのを横目に安値109.29まで反落。その後、日銀幹部からオペについて「このところ長期金利が大きく上昇していることを踏まえ、10年物国債金利をゼロ程度に誘導する市場調整方針をしっかりと実現するために実施した」とのコメントが報じられるも反応は限定的。海外時間に米1月雇用統計の発表を控えた様子見ムードも広がる中で、一段安とはならなかった。午後にかけて再び日銀国債買い入れオペを評価する声も出る中で、東京時間高値109.75をつけ、同レベルで海外に渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は上昇した。109.75レベルでオープン。東京時間に日銀は国債買い入れ増額や新発10年国債を一定の利回りで無制限に買い入れる「指し値オペ」を7か月ぶりに実施した。イールドカーブコントロール政策を採用している日銀が指値オペに動くことは想定内と言われているが、これを受け日本の金融緩和策の出口を期待する市場参加者による円売りが進んだとみられ、ロンドン時間高値109.93をつけた。結局ドル円は109.88レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは売られた。1.4261レベルでオープン。先日のやや効派よりなFOMC声明文や、発表された英1月建設業PMIは50.2(予想52.0 前回52.2)とブレグジットを控えた不透明感から景気見通しへの懸念が強まっていることが確認されたこと等から1.4202まで売られ1.4218レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン時間フリー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	日銀の指値オペのニュースを受け、海外市場で円売りが強まったことに加え、先日のやや効派なFOMC声明文を受けたドル買いドル円は109.93まで戻し、109.88レベルでNYオープン。朝方は注目の米1月雇用統計で、平均時給が予想を上回り、前回分も上方修正され、非農業部門雇用者も予想を上回る20万人となり、前回分も上方修正されたことからドル買いが優勢となり、110円ちょうどを抜け、110.34まで上昇する。その後も株式市場が大幅に下落する一方、円買いは強まらず、1月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想を上回ったこともドル買い材料となり、110.48まで上昇する。正午頃になり、トランプ氏が議会に送ったロア疑惑に関する文書を米下院共和党が公開したとの報を受け、ドル売りが強まり110.02まで下押しするが、株式市場が600ドル以上下落し、高値警戒感があつた株式市場の修正が起こっているのではないかと見方が強まる中、ドル買い戻しが強まり、110.33まで戻す。終盤に掛けては週末を控え狭いレンジでの推移が続き、110.19レベルでクローズした。一方、海外市場のユーロドルは、1.25丁度付近での推移が続き、1.2492でNYオープン。朝方は米1月雇用統計の結果を受けたドル買いに、一気に売りが持ち込まれ1.2409まで下落する。その後は前述のトランプ大統領のロア疑惑に関する文書公開を受けドル売りが強まり、1.2490まで買い戻されるが、株式市場の暴落を受けたリスク回避の動きからドル買いが優勢となり、1.2450まで反落し、1.2455レベルでクローズした。(NY 止上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:佐藤(雅)・坂本